



秩父市地域おこし協力隊

活動報告会

2026年3月20日(金) 13:30~15:30

秩父市役所 歴史文化伝承館1階 研修室

発表メンバー

移住・定住推進



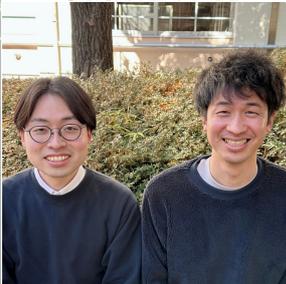
伊藤 良平(3年目) 写真:左

神奈川県座間市から移住。フリーランスのWEBデザイナーの経験を活かし移住センターHPを刷新しPRを推進。移住相談や広報物制作、公式LINEや移住体験ツアーを企画し、利用者は延べ300人以上。

近藤 正人(2年目)

兵庫県出身。震災を経て愛媛県や海外で暮らした経験を活かし、相談者の不安に寄り添うガイド役を担う。地域交流や体験イベントを企画し、移住後も関係が続く窓口を目指している。

高校魅力化



吉川 晃太(3年目) 写真:左

大学卒業後に秩父市へ移住し、高校魅力化コーディネーターとして高校と地域をつなぐ。自身の経験を活かした哲学対話の場づくりなどを通じ、校外で高校生の新たな学びを創出している。

神宮 一樹(3年目)

埼玉県立秩父高校に常駐し、学校と地域を繋ぐコーディネーターを務める。探究学習や課外活動を通して、高校生の学びを広げていくことを目指して活動している。

森づくり



待井 聡(3年目) 写真:左

土木設計事務所を経て秩父に移住。市有林での道づくりや間伐、倒木処理に携わり、日々の研鑽に努める。休日は広葉樹林の整備にも取り組み、実践経験を重ねている。

秋山 康博(2年目)

間伐ボランティアへの参加をきっかけに秩父へ移住。協力隊として自伐型林業の広がり貢献すべく日々活動している。

集落支援



後藤 公輝(3年目)

前職は25年にわたり新聞・雑誌取材や結婚式などを撮影するカメラマン。現在は大滝で高齢者の生活支援や、耕作放棄地を防ぐ農地維持活動に取り組み、住民が明るく暮らせる地域づくりを目指している。

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊制度とは、都市地域から秩父市に住民票を異動し、市の職員(会計年度任用職員)として働く制度です。

地域の担い手として「地域協力活動」を行いながら、秩父市への定住・定着を図ります。

任期は最大3年間となります。

※秩父市の場合。他自治体では条件が異なります。

秩父市では現在、15名の隊員がそれぞれのミッションに取り組んでいます。今回は各隊員のミッションや、自主活動についての活動報告を行います。

タイムスケジュール

13:15 開場

13:30 開会挨拶

13:40~14:50 各隊員発表
休憩

15:00~15:30 隊員と交流会

お問い合わせ 総合政策部総合政策課 (移住相談センター)
0494-26-7946 iju@city.chichibu.lg.jp

交流会参加者の方へ
Jベリティ プレゼント
(秩父の間伐材を使った鉛筆 数量限定)